

みんなでパラ卓球を一緒に楽しもう パラ卓球(肢体不自由者卓球)の 拠点活動

市では、パラ卓球競技を通じて、スポーツの楽しさを体験してもらうとともに、多くの人が障がいに対する理解を深める共生社会を推進しています。

国内に4か所ある拠点の一つに選定

一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会との事業連携により、令和5年度からパラ卓球競技の普及と将来のパラリンピアン育成のための拠点活動を開始しました。

この活動は、旭市のほか国内3か所(新潟県新発田市、福岡県北九州市、大分県杵築市)で行われています。

活動内容

- パラ卓球競技を知って、触れて、みんなで一緒に練習をします。
- 将来のパラリンピアンの発掘・育成に取り組めます。
- 参加者同士の交流やネットワークづくりを推進します。

練習会を毎月開催

身体障がいのある人のほか、付き添いの人も一緒に参加できます。見学のみも可能です。参加を希望する人は、スポーツ振興課に電話で申し込んでください。

対象／身体障がいのある人(肢体不自由者) ※年齢や卓球

経験は問いません。

日時／毎月第2・4土曜日 午後2時～4時30分 ※会場などの都合により月1回となる場合があります。

場所／総合体育館 サブアリーナ

費用／無料

そのほか／室内用シューズ、タオル、飲み物を持参してください。卓球ラケットは貸し出しが可能です。



打ち方の指導を受ける参加者

本事業は、一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会が、独立行政法人日本スポーツ振興センターの委託事業「課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム(地方公共団体と連携した育成環境の整備)」を受託して実施しています。

活動の様子など、くわしい内容は市ホームページで確認できます。



広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

第21回

1997年(平成9年)6月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今回は広報うななみ平成9年6月号を紹介します。

表紙は、東総広域農道沿いで行われた地域住民による清掃活動の様子です。この場所は「アジサイ街道」と呼ばれ、毎年6月ごろに色鮮やかなアジサイの花が咲き、通りを彩っています。そのほかでは、青少年海外視察を報じています。この事業は、18～35歳の若者に、歴史的遺産の見学や現地の人たちとの交流などを通じて、外国の文化や生活に触れ、国際的な視野を広めてもらうことを目的に行われていました。



青少年海外視察

平成9年の主な出来事

- 東京湾アクアラインが開通
- 大手証券会社の一つ、山一証券が経営破綻



平成9年

6月号

NO.376

広報

うななみ

■編集・発行 海上町役場企画財政課(〒209-20 海上町高生1番地 ☎0479-55-3111) 毎月1日発行

表紙(アジサイ街道の清掃)